

香港船用工業セミナーの開催結果について

当会は、日本財団助成事業として、11月26日（火）、香港にて船用工業セミナーを開催した。今回のセミナーは香港船主協会と共催して実施し、4年ぶりの同地での開催となり、船主をはじめ香港側海事関係者90名の来場者があった。

当工業会からは、木下茂樹会長、久津知生副会長、小田雅人副会長（当会海外市場開拓検討委員長）及びト部礼二郎（海外市場開拓検討WG）座長をはじめ、計17社の会員企業が参加した。

開催当日には、当会正副会長が香港船主協会を訪問し、セミナー開催協力へのお礼及び最近の香港海事最新動向、グリーン海運に向けた動き、両国の脱炭素化に向けた新燃料対策等についての意見交換を行った。

セミナー冒頭、木下会長より、「現在、日本企業はゼロ・エミッションを達成するために新しい燃料エンジンや関連機器の技術開発を推進しているため、ぜひお互いに情報交換を行い、香港側の皆さまと共に脱炭素化を目指すために交流を行っていききたい」旨の挨拶を行った。続いて、香港船主協会の技術担当理事（Technical Director）である Martin Cresswell 氏より「4年ぶりの開催を大変嬉しく思う。現在香港船主にとっては、長納期化傾向にある新造において、新燃料搭載やデジタル化、省エネルギー化への関心は非常に高い。日本の船用機器に関する最新情報を入手できることを期待している。」との挨拶があった。また、同氏から今後も定期的に当地でのセミナーを実施して欲しいとの要望もあった。

挨拶につづき、参加会員企業17社が自社製品・技術の最新情報等に関するプレゼンテーションを行った。また、プレゼンテーションと並行し、商談テーブルでは、来場者への製品や技術に関する詳細説明やプレゼンテーションに対する質疑応答などの意見交換が行われた。

セミナー終了後にはレセプションを開催し、現地顧客等と会員企業との交流の場を設けた。セミナーに参加した会員企業からは、「香港の重要な顧客と話す機会を得ることができ、大変有意義であった」、「会いたかった船主、船舶管理会社さんとの面会ができた」、「事前訪問した客先からの来場があり話もできて成果が出た」などの声が多数あり、我が国船用工業のPRと現地顧客等との関係発展を図ることができた。

また、香港セミナー後にはタイ船主協会（Thai Shipowners' Association）に木下会長と当会会員企業とで訪問し、Suraphon Meesathien 会長及びタイ船主協会会員企業である Regional Container Lines の Sutep Tranantasin 氏（Advisor to the President）と来年度の船用工業セミナー開催の可能性や我が国船用製品等のPRを行った。また、タイ船主の Regional Container Lines 社では、12,000TEU 型のコンテナ船をこれまで計3隻を日本建造しており、日本製船用機器を高く評価しているとの声もあった。

【セミナー開催概要】

日時：2024年11月26日（火）＊セミナー：14:00-17:30、懇親会：18:00-20:00

会場：香港海事博物館 B Deck / Special Exhibition Room (住所：Man Kwong St, Central, Hong Kong)

協力団体：香港船主協会 (Hong Kong Shipowners Association)

実施内容：下記 WEB サイト参照

<https://www.jsmea.or.jp/en/seminar/2024/hongkong/>

参加企業：計17社（プレゼンテーション実施及び商談テーブル設置企業）

（株）エヌワイ、かもめプロペラ（株）、川崎重工業（株）、（株）ササクラ、セムコ（株）、大晃機械工業（株）、ダイハツディーゼル（株）、大洋電機（株）、中国塗料（株）、東京計器（株）、東部重工業（株）、ナブテスコ（株）、BEMAC（株）、ボルカノ（株）、三浦工業（株）、三菱重工マリンマシナリ（株）、ヤンマーパワーテクノロジー（株）

【本件に関する問い合わせ先】

一般社団法人 日本船用工業会 業務部 石田・水谷

TEL：03-3502-2041 FAX：03-3591-2206 Email id：ishida@jsmea.or.jp, mizutani@jsmea.or.jp

<参考写真>

開会挨拶を実施する木下会長



香港船主協会 Martin Cresswell 氏による来賓挨拶



会員企業によるプレゼンテーションの様子



商談テーブルの様子



タイ船主協会訪問の様子

